

## オブジェクト思考とは

1つ目の特徴として、プログラムを手順ではなくて、モノの作成と操作として見る考え方であること。オブジェクトとは「モノ」を意味する。

「テレビ」というモノを操作するとき、中でどういうプログラムが動いているか知る必要はない。「リモコンで～チャンネルを押す」という作業を知っていれば動く。その"モノ"を使う、というのがオブジェクト指向という考え方。

2つ目の特徴として、再利用性があること。

1つの車を作ったとする。必ずその車を作る際に設計図も一緒に作ることになる。この設計図は、一度作ってしまえばいくらでも応用がきく。今度は赤い車を作ろうとした場合、一から設計図を作り直す必要はなく、塗装の部分だけを変えれば良い。

3つ目の特徴として、1つ目の特徴に付随するのだが、中身がわからないからこそ大勢の人で使いやすい。

テレビをもう一度例にとるが、テレビの中の構造が誰でもわかるとなると、それは汎用性が一気に無くなってしまう。なぜなら誰でもわかるということはそれだけそのテレビが壊れやすいことを意味し、壊れやすいテレビは大勢のセキュリティ面などから大勢の人に使われない。

中身がわからないからこそ、大勢の人に使われることができる。